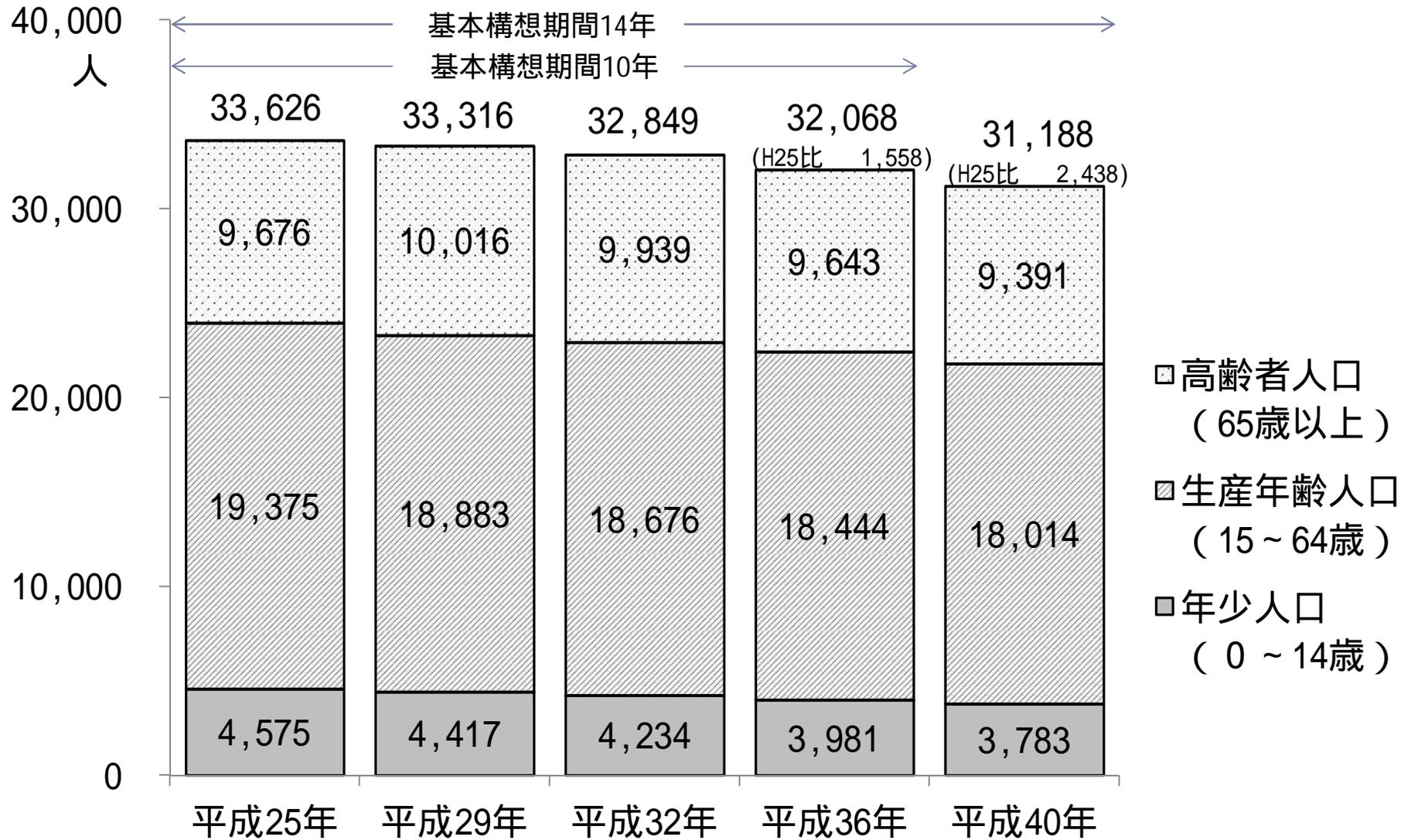


将来人口の考え方（案）について

平成26年3月24日

将来人口推計（住民基本台帳ベースの場合）



総合計画と将来人口のこれまでの関係

- ▶ 人口増加と右肩上がりの経済成長
 - ・ 「いけいけどんどん型」の総花的な総合計画が主流
 - ・ 人口増加が前提とされているまちづくり
 - ・ 人口増加 = 予算規模の拡大

総合計画と将来人口のこれからの関係

▶ 少子高齢化や生産年齢人口の減少

- ・ 人口構成バランスの大きな変化
- ・ 社会保障関係費の増加、個人住民税の減少

▶ 日本全体が人口減少時代に移行

- ・ 人口減少を基調としつつ、その減少を最小限に抑えられるようなまちづくり
- ・ 量より質に重点を置いたまちづくり

参考 1

○ 町民アンケート(平成25年10月実施)における「今後10～15年間の葉山町の望ましい人口の動きについて」に対する回答

(設問)

葉山町の平成25年9月1日現在の住民基本台帳人口は33,641人ですが、国の研究機関における推計では、葉山町の人口は今後減少するとされています。今後10～15年間の葉山町の望ましい人口の動きについて、どのように思いますか。

(回答)

- 人口の増加をめざすべき…………… 15.9%
- 人口の維持をめざすべき…………… 52.0%
- 人口の減少は望ましくないが、やむをえない…… 25.7%
- 人口の減少は望ましい…………… 4.6%

参考 2

○「将来人口の考え方」についての総合計画特別委員会(平成26年3月3日開催)からの意見について

- 町民アンケートの結果等も踏まえ、現状人口の維持を念頭に、各種取り組みをしていただきたいと考える。
また、その具体的な手法については、第4次総合計画において積極的な政策、施策を掲げることにより、町民の望むようなまちづくり、今の葉山町を守っていけるようなまちづくり、を検討していくべきではないか。